

# OFFICIAL MATCH DAY PROGRAM

発行：関西学生サッカー連盟  
2010年7月6日発行



Japan University Football Association

第34回 総理大臣杯  
全日本大学サッカートーナメント  
2010年7月6日(火) 2回戦



## 第34回 総理大臣杯 全日本大学サッカートーナメント 2回戦

PHOTO：藤田望



PHOTO：藤田望

### ■7月6日(火)@大阪長居第2陸上競技場

#### 《第1試合》15：30 KICK OFF 中京大学—福岡大学

「脱・永井」をテーマに攻撃陣を鍛えてきたという福岡大の乾真寛監督。1回戦では途中出場のFW⑩石津大介(3年)も鋭いシュートを放つなど、前線のタレントは豊富だ。一方、守備陣は若く、失点の可能性も。中京大は昨年のユニバーシアード代表のボランチ②森本良(4年)、エースFW⑩斉藤和樹(4年)の奮起が欠かせない。

(読売新聞大阪本社 運動部 山口 博康)

#### 《第2試合》18：00 KICK OFF 明治大学—国士舘大学

4月24日の関東大学リーグ前期戦では明治大が1-0で勝利。ただ、その試合内容は、国士舘大が終始支配しながら、終了間際にPKを得た明治大が決勝点を奪ったというものだった。それだけに国士舘大の⑩MF斎藤一行主将(4年)は「同じ相手に連敗はできない。「180人以上いる部員を代表して試合に出ているので、絶対に勝つ」と雪辱を誓う。明治大の⑩FW山田大記主将(4年)は「好守の切り替えと豊富な運動量、集中力を出して、明治らしい戦いをする」と闘志を燃やしていた。

読売新聞大阪本社 運動部 清水 裕

### ■7月6日(火)@堺市立サッカー・ナショナルトレーニングセンターメインフィールド

#### 《第1試合》15：30 KICK OFF 仙台大学—慶應義塾大学

「精神的にムラのある状態を解消し、90分集中しなければ」とメンタル面を重要視した慶應義塾大の主将DF三上佳貴(4年)。対する仙台大の攻撃の中心、FW⑨奥埜博亮(3年)は「慶應大は上手い。何とか組織的な守備でしのぎたい」とまずはしっかりした守りから入るプラン。慶應義塾大の爆発力に、仙台大がどう対応するかがポイント。

(サッカーライター ハヤシ ヒロヒサ)

#### 《第2試合》18：00 KICK OFF 高知大学—駒澤大学

2回戦、相反する両者の激しいぶつかり合いが予想される。「数少ないチャンスでも、前線ではダイレクトでつなぎたい」(野地照樹監督)高知大。対する駒澤大、「翻弄されないように自分たちのサッカーを徹底したい」と岡田誠史コーチ。スタイルはロングボール、カウンターサッカーが主体。勝利の女神が微笑むのは果たしてー。

(フリーライター 久住 真穂)

## 大阪体育大学 VS 国士舘大学

一昨年優勝の大阪体育大が初戦敗退。2年ぶりに指揮を執る坂本康博総監督は「力不足です」と完敗を認めたが、主導権を握る機会は何度もあった。序盤に再三の決定機をものこせずに、自ら流れを手放してしまったことが悔やまれる。16分に⑥MF相川茂樹(4年)が約35mのミドルシュートを決めて先制。その後も⑧MF村田和哉(4年)が右サイドを切り裂いて何度も好機を演出したが、ゴール前でフリーの選手が決められなかったのが痛かった。

国士舘大は戦術を徹底できたことが勝因。「サイド攻撃には自信がある」と細田三二監督が胸を張るように、4得点はすべてサイドからの攻めが起点となった。31分の同点ゴールは、右サイドバックの⑦大竹隆人(4年)がタッチラインを駆け上がり、シュート。左ポストに跳ね返ったボールを、⑨MF金子昌広(2年)が落ちていて押し込んだ。細田監督は「狙い通りの戦いができた」と満足顔だった。

(読売新聞大阪本社 運動部 清水 裕)



PHOTO: U N N 関西学生報道連盟

## 大阪体育大 2-4 国士舘大

■7月4日(日) 15:30 kick off @大阪長居スタジアム

◇出場選手

大阪体育大	国士舘大
1 松本 智広	1 山田 賢二
2 皆口 裕司	7 大竹 隆人
15 園田 健人	4 大久保 翼
4 濱上 孝次	6 塩谷 司
5 藤春 廣輝	28 瀬川 和樹
8 村田 和哉	13 岩崎 晃也
6 相川 茂樹	10 斎藤 一行
7 廣岡 太貴(→26 中川 真也)	14 佐藤 優平(→15今泉 圭吾)
19 山本 大稀	9 金子 昌広
10 川西 翔太(→3 菅原 渉)	17 松本 祐樹(→11吉野 峻光)
11 脇 睦(→22 渡邊 悠介)	19 田中 俊哉

◆得点(アシスト)◆

大阪体育大 16分	6 相川 茂樹(10 川西 翔太)
国士舘大 31分	9 金子 昌広(7 大竹 隆人)
国士舘大 38分	19 田中 俊哉(17 松本 祐樹)
国士舘大 49分	オウンゴール
国士舘大 63分	11 吉野 峻光(9 金子 昌広)
大阪体育大 71分	8 村田 和哉

## 明治大学 VS 新潟経営大学

### 明治大 2-0 新潟経営大

■7月4日(日) 18:00 kick off @大阪長居スタジアム

◇出場選手

明治大	新潟経営大
21 高木 駿	1 太田 和輝
2 鹿野 崇史	2 入谷 勲
3 楠木 啓介	3 山本 謙一
4 丸山 祐市	6 高橋 直樹
12 奥田 大二郎	7 金 尚佑
5 宮阪 政樹	10 松坂 昇
8 田中 翔大	9 ヲモン アメイシ
19 田中 恵太(→7 小林 裕紀)	14 御座 啓介(→8 渡邊 圭祐)
18 星野 皓太(→22 山村 佑樹)	13 田中 剛(→18 木村 晋作)
10 山田 大記	12 田原 陽平
11 久保 裕一(→9 山本 紘之)	15 青木 秀(→11 金沢 陽)

◆得点(アシスト)◆

明治大 23分	2 鹿野 崇史(5 宮阪 政樹)
明治大 74分	11 久保 裕一(10 山田 大記)

23分に⑤MF宮阪政樹(3年)のコーナーキックをゴール前の②DF鹿野崇史(4年)が頭で押し込み、74分にはエースストライカーの⑩FW久保裕一(4年)が追加点を挙げて快勝したが、点差以上に実力の差を感じた。

明治大は、J1のジュビロ磐田に入ることが内定している⑩FW山田大記(4年)と⑦MF小林裕紀(4年)、J2のジェフ千葉に内定している久保の4年生3人ら能力の高い選手が多く、終始ゲームを支配。中盤で細かいパスを回しながら、スペースを見つけて入り込み、ゴールを狙った。2点止まりだったのは、相手の①GK太田和輝(3年)のスーパーセーブが再三あったからだ。主将の山田は「守りは全員が体を張って頑張ったけど、攻撃ではもっと決定力を上げていきたい」と反省も忘れなかった。

新潟経営大は立ち上がりにハードワークで明治大を苦しめたが、先制された後はなかなか流れを引き戻せなかった。シュートが、明治大(17本)の約3分の1の6本しか打てず、決定機を作れなかった。

(読売新聞大阪本社 運動部 清水 裕)



中京大学 VS 札幌大学

中京大 2-1 札幌大

■7月4日(日) 15:30 kick off @三木総合防災公園陸上競技場

◇出場選手

中京大

- 17 石川 湧也
- 18 小川 真司(→5 平山 照晃)
- 4 中田 智久
- 3 加藤 駿一
- 12 須崎 恭平
- 2 森本 良
- 14 熊澤 圭祐
- 13 中村 亮太(→8 星野 悟)
- 6 佐藤 和弘(→11 内田 渉)
- 7 石原 卓
- 9 藤牧 祥吾

札幌大

- 1 二瓶 考太郎
- 13 二津 竜士
- 3 三上 哲郎
- 4 谷田 祐輔
- 5 安藤 謙佑
- 6 横山 雄二
- 7 清原 圭介
- 10 西村 啓
- 17 福永 貴弘(→16 関口 雄与)
- 11 後藤 裕樹(→15 黒田 亮介)
- 9 金田 拓也

◆得点(アシスト)◆

- 札幌大 26分 7 清原 圭介
- 中京大 28分 3 加藤 駿一
- 中京大 50分 9 藤牧 祥吾(13 中村 亮太)

初戦の緊張感からか、ともに慎重な立ち上がり。試合を動かしたのは前回8強の札幌大だった。26分、主将のMF⑦清原圭介(4年)が豪快なミドルシュートを突き刺した。しかし、これで中京大が目覚ます。

2分後、右サイドを切り崩し、中央からDF③加藤駿一(3年)が蹴り込み同点。50分にはFW⑨藤牧祥吾(3年)のミドルで勝ち越した。エースFW⑩斉藤和樹(4年)が出場停止のため、やや決定力には欠けたが、後半はしっかり守って試合をコントロールするうまさも。中京大の西ヶ谷隆之監督は「次に進めたことが収穫。準々決勝はもっと面白い試合にしたい」と意欲を見せた。

(読売新聞大阪本社 運動部 山口 博康)



PHOTO:藤田望

流通経済大学 VS 福岡大学

流通経済大 2-3 福岡大

■7月4日(日) 18:00 kick off @三木総合防災公園陸上競技場

◇出場選手

流通経済大

- 1 増田 卓也
- 4 天野 健太
- 3 山村 和也
- 20 小川 晃平
- 6 比嘉 祐介
- 7 村瀬 勇太
- 5 中里 崇宏(→16 竹石 翼)
- 25 小島 聖矢(→15 河本 明人)
- 8 保戸田 春彦(→10 ベルカ・ファン)
- 28 椎名 伸志
- 11 武藤 雄樹

福岡大

- 21 大森 圭悟
- 6 宮本 卓也
- 4 牟田 雄祐
- 5 串間 雄峰
- 19 桑原 亮(→3 代 健司)
- 17 假屋 健太(→14 一瀬 秀平)
- 7 長谷 慎司
- 22 田中 智大
- 18 黒木 恭平
- 8 清武 功暉(→11 石津 大介)
- 10 永井 謙佑

◆得点(アシスト)◆

- 福岡大 10分 8 清武 功暉(18 黒木 恭平)
- 福岡大 13分 10 永井 謙佑
- 流通経済大 29分 11 武藤 雄樹(25 小島 聖矢)
- 福岡大 69分 8 清武 功暉(6 宮本 卓也)
- 流通経済大 87分 20 小川 晃平

1日にワールドカップ(W杯)南アフリカ大会から帰国したばかりの、FW⑩永井謙佑(4年)の動きが目をついた。

1点リードの13分、フリーでボールを受けるとドリブルでペナルティーエリアまで一気に侵入。ともにサポートメンバーとして日本代表を支えた流通経済大のDF③山村和也(3年)のファウルを誘った。このPKを自ら決めて主導権を握った。

永井がDFを引きつける中、10分にFKを頭で合わせ先制点を挙げたFW⑧清武功暉(2年)が69分、右クロスに飛び込みこれが決勝点。流通経済大はFW⑩武藤雄樹(4年)、DF⑩小川晃平(2年)のゴールで執念を見せたが、福岡大のペースを崩しきれなかった。

(読売新聞大阪本社 運動部 山口 博康)



PHOTO:藤田望

## 鹿屋体育大学 VS 慶應義塾大学

「前半15分までに、相手にプレッシャーをかけて、自分たちの展開にする」(慶應義塾大・三上佳貴主将)という、慶應義塾大のゲームプランが見事にはまった試合になった。このプランは、総理大臣杯に向けて特別に練ったものではなく、リーグ戦でも貫いている慶應義塾大の方法論。

15分までに、鹿屋体育大のDFラインを混乱させた慶應義塾大は、16分にFW⑨深澤良(4年)が右サイドを突破し中央へクロス。これをMF⑥藤田息吹(2年)が合わせて先制点。その後もサイドを支配した慶應義塾大に対し、鹿屋体育大もよく耐えていたが、34分にPKを献上。慶應義塾大・深澤が蹴り込んで試合の流れを決める2点目。勢いにのった慶應義塾大は、この試合で牙え渡っていた左ワイド⑩横川達郎(4年)がドリブル突破を連発。39分にも単独突破から、中央のボランチ⑧大塚尚毅(3年)に丁寧パス。大塚が冷静に決めて3-0。一方的な展開だったが、「集中力が持続できなかった」(三上主将)慶應義塾大は、後半足が止まる。ボールは回るが、まったくシュートにも繋がらず。それでも75分に、左SB③黄大城(3年)のオーバーラップから、MF⑭日高慶太(3年)がダイビングヘッドを決めて、ようやく駄目押し。

鹿屋体育大も、MF⑰粕川正樹(1年)が見事なドリブルシュートで1点を返すが時すでに遅し。最後は、慶應義塾大の深澤が個人技で5点目を叩き込んで大勝を呼び込んだ。

(サッカーライター ハヤシ ヒロヒサ)

## 鹿屋体育大 1-5 慶應義塾大

■7月4日(日) 15:30 kick off @西京極総合公園陸上競技場

◇出場選手

### 鹿屋体育大

17 井上 亮太  
4 與那嶺 樹  
5 坂井 達弥  
15 山崎 大嗣(→14 木村 俊喜)  
2 前田 岳  
11 多田 高行  
12 小森 啓一郎(→28 大山 直哉)  
10 桃井 宏和(→27 粕川 正樹)  
7 山崎 侑輝  
8 野林 涼  
9 岡田 翔平

### 慶應義塾大

1 中川 翔太  
3 黄 大城  
4 三上 佳貴  
5 笠松 亮太  
2 田中 奏一  
8 大塚 尚毅(→28 松下 純土)  
6 藤田 息吹  
15 横川 達郎  
7 山浦 公裕(→14 日高 慶太)  
9 深澤 良  
10 河井 陽介(→13 森田 達見)

◆得点(アシスト)◆

慶應義塾大 16分 6 藤田 息吹(9 深澤 良)  
慶應義塾大 34分 9 深澤 良  
慶應義塾大 39分 8 大塚 尚毅(15 横川 達郎)  
慶應義塾大 75分 14 日高 慶太(3 黄 大城)  
鹿屋体育大 80分 27 粕川 正樹  
慶應義塾大 82分 9 深澤 良(6 藤田 息吹)

## 同志社大学 VS 仙台大学

## 同志社大 2-3 仙台大

■7月4日(日) 18:00 kick off @西京極総合公園陸上競技場

◇出場選手

### 同志社大

1 堀之内 義博  
2 林 佳祐  
3 安川 有  
4 川野 晃生  
20 三浦 修  
6 早坂 賢太  
8 荒堀 謙次  
7 東矢 尚仁  
17 杉山 和毅(→12 小堀 誠也)  
16 辻 智人(→55 杉山 健太)  
11 市川 俊治朗(→9 角島 康介)

### 仙台大

1 金 祐輔  
2 木内 瑛  
3 平野 洋輔  
10 和泉 隼  
4 蜂須賀 孝治  
8 李澤 忍治  
14 黒田 涼太(→26 菅井 慎也)  
7 森田 光哉(→18 草刈 大地)  
6 山崎 航太  
9 奥埜 博亮  
11 佐藤 世弥(→19 引地 敏生)

◆得点(アシスト)◆

仙台大 3分 9 奥埜 博亮(8 李澤 忍治)  
仙台大 40分 9 奥埜 博亮  
仙台大 51分 9 奥埜 博亮(11 佐藤 世弥)  
同志社大 59分 4 川野 晃生(17 杉山 和毅)  
同志社大 80分 8 荒堀 謙次

この試合、敗れた同志社大がシュート数では仙台大の倍以上を撃っている。ただ、そのシュートの質、つまりは技術や冷静さの部分で試合が決したと言える。3分に、仙台大はMF⑧李澤忍治(4年)のFKに、エースストライカー⑨奥埜博亮(3年)がヘッドで上手く合わせて早々と先制。反撃したい同志社大だが、最近の試合では失点もほとんど喫していなかったため、リズムが掴めない。

それでも個人技を中心に仙台大ゴールに迫る。ただ、何度も迎える決定機でシュートに無駄な力が入り過ぎ、ネットを揺する事が無い。加えて、仙台大のGK①大金祐輔(4年)のビッグセーブ連発が同志社大の焦りを助長する。「失点しないように心掛けた」(奥埜)仙台大の試合運びが上手く展開し始め、仙台大は、少ないチャンスを奥埜がしっかりモノにしてゆく。40分には、同志社大ゴール前の混戦からプッシュして追加点。後半に入って51分にも、FW⑩佐藤世弥(3年)のシュートを、上手くコースを変えて流し込む。見事なハットトリックで試合を決めた。

同志社大も、自慢の攻撃力で反撃には転じた。59分には、CB④川野晃生(4年)がCKからヘッドで1点。80分には、MF⑧荒堀謙次(4年)が角度の無いところから見事に沈めて1点差。その後も一方的に攻めたが、シュート場面で明らかに力が入り過ぎ。仙台大は上手く、しっかりと守りタイムアップを迎えた。

(サッカーライター ハヤシ ヒロヒサ)



高知大学 VS 関西学院大学

高知大 3 - 1 関西学院大

■7月4日(日) 15:30 kick off

@堺市立サッカー・ナショナルトレーニングセンターメインフィールド

◇出場選手

高知大

- 1 片山 裕登
- 15 赤木 俊秀
- 3 實藤 友紀
- 4 山部 晃
- 6 山岡 正和
- 7 香川 大樹
- 5 西山 巧真
- 14 芝野 創太
- 8 酒井 貴政
- 11 竹内 宏次郎(→12 永瀬 寛)
- 10 布施 祐典

関西学院大

- 22 横江 諒
- 3 津田 真吾
- 13 高橋 宏次郎
- 27 井林 章
- 15 高松 功一
- 5 桑野 裕士
- 12 花井 慎吾(→10 渡辺 毅仁)
- 7 梶川 諒太
- 42 浦島 彰洋(→11 桑原 理介)
- 19 山内 一樹
- 31 関 皓平(→9 村井 匠)

◆得点(アシスト)◆

高知大 10分 10 布施 祐典( 7 香川 大樹)

高知大 53分 7 香川 大樹(14 芝野 創太)

高知大 85分 7 香川 大樹

関西学院大 90+2分 19 山内 一樹(11 桑原 理介)

10年連続出場の常連校・高知大と8年ぶりの出場となった地元・関西学院大の対戦。高知大はDF③實藤友紀・4年(川崎フロンターレ内定)を中心に統率された守備、フットサルで鍛えた足元が光った。前半10分、ゴール前へダイレクトでつなぎ、FW⑩布施祐典が技ありシュートで先制。後半にはMF⑦香川大樹(4年)が前線で切り込んで追加点を挙げ試合を決めた。3回生以下が先発した関西学院大は、浮き足立ったプレーが目立ち警告4枚。中盤にためをつくれず、攻守にわたって苦しんだ。

「全て高知大が上だった」と関西学院大DF⑬高橋宏次郎(3年)。勝った高知大・野地照樹監督は「うちは4回生が9人もいた。そこが大きい」と、経験の差を見せ付け2回戦へ勝ち進んだ。(フリーライター 久住 真穂)



PHOTO: 久住真穂

環太平洋大学 VS 駒澤大学

環太平洋大 1 - 3 駒澤大

■7月4日(日) 18:00 kick off

@堺市立サッカー・ナショナルトレーニングセンターメインフィールド

◇出場選手

環太平洋大

- 1 植田 峻佑
- 2 松永 康佑
- 23 河本 尚宏
- 12 藪井 翼
- 27 片桐 瑞貴(→ 8 窪田 和真)
- 7 吉波 毅顕
- 26 齋藤 和磨(→14 松本 太郎)
- 5 小林 祐輝(→11 森永 圭介)
- 17 藤本 陽平
- 29 原田 昌一郎
- 10 森川 龍誠

駒澤大

- 1 岡 大生
- 2 酒井 隆介
- 3 亀井 秀将
- 4 林堂 眞
- 5 山崎 紘吉
- 6 金正也
- 7 金久保 彩
- 8 奥村 情(→15 笠井 雄太)
- 11 湯澤 洋介
- 9 棗 佑喜(→10 田中 信也)
- 23 大塚 涼太(→20 肝付 将臣)

◆得点(アシスト)◆

環太平洋大 72分 17 藤本 陽平( 1 植田 峻佑)

駒澤大 75分 2 酒井 隆介(11 湯澤 洋介)

駒澤大 76分 9 棗 佑喜(20 肝付 将臣)

駒澤大 79分 7 金久保 彩

創部4年目にして初出場の環太平洋大が、関東の雄・駒澤大に挑んだ。前半はアンカーを置く守備的布陣で臨んだ環太平洋大が駒澤大を徹底マーク。我慢の時間に耐えた後半27分、環太平洋大MF⑩藤本陽平(2年)がDFのクリアミス奪い大きく浮かせた球は、GKの頭上を越えゴールネットを揺らす。この先制点で火が付いた駒澤大。3分後には味方のクロスにDF②酒井隆介(4年)が飛び込み同点。さらにその直後、FW⑨棗佑喜(4年)が強烈なシュートをゴールへ突き刺した。最後はPKをきっちり決め、3-1と苦しみながらも駒澤大が逆転勝ち。死力を尽くした環太平洋大・桂秀樹監督は「チャンスをものにし、点に結び付けた。よく頑張った」と大会を去った。(フリーライター 久住 真穂)



PHOTO: 久住真穂

# 2010年度 第34回 総理大臣杯 全日本大学サッカートーナメント (PRIME MINISTER CUP 2010)

## 【会場】

大阪長居スタジアム、大阪長居第2陸上競技場(長居第2)  
堺市立・ナショナルトレーニングセンターメインフィールド(堺SNTC)  
三木総合防災公園陸上競技場(三木防災)  
西京極総合運動公園陸上競技場(西京極)



☆決勝戦はSENSHU JOLLY FM 82.6で生放送!  
公式HP <http://www.fm826kaico.jp/>  
インターネット-LIVE放送ですので、全国どこからでも視聴可能!!

大阪長居スタジアム		7/10(土)	
14:00			
大阪長居第2陸上競技場		7/8(木)	
18:00		15:30	
長居第2 18:00	長居第2 15:30	堺SNTC 15:30	堺SNTC 18:00
2 { 1-0 } 0	2 { 1-2 } 4	2 { 1-1 } 1	2 { 1-2 } 3
2 { 1-0 } 0	2 { 1-2 } 4	2 { 1-1 } 1	2 { 1-2 } 3
長居スタジアム 18:00	長居スタジアム 15:30	三木防災 15:30	三木防災 18:00
堺SNTC 15:30	堺SNTC 18:00	西京極 18:00	西京極 15:30
3 { 1-0 } 1	1 { 0-3 } 5	3 { 1-0 } 1	1 { 0-0 } 3
堺SNTC 15:30	堺SNTC 18:00	堺SNTC 15:30	堺SNTC 18:00
7/6(火)	7/4(日)		
明治大学 6年ぶり9回目	新潟経営大学 2年ぶり4回目	大阪体育大学 2年ぶり16回目	国士館大学 3年連続18回目
中京大学 2年ぶり19回目	札幌大学 2年連続29回目	流通経済大学 2年ぶり7回目	福岡大学 2年連続27回目
同志社大学 2年連続13回目	仙台大学 3年ぶり25回目	鹿屋体育大学 6年ぶり8回目	慶應義塾大学 12年ぶり7回目
高知大学 10年連続20回目	関西学院大学 8年ぶり10回目	環太平洋大学 初出場	駒澤大学 2年連続13回目
関東1	北信越	関西2	関東4
東海	北海道	関東5	九州1
関西1	東北	九州2	関東3
四国	関西3	中国	関東2

※何らかの理由により、決勝戦が7月10日(土)に行えなかった場合、7月11日(日)に同会場、同時間で行う予定です。

## 関西学生サッカーの聖地作り・・・それがわたしたちの夢。



**DREAM**  
夢があるから強くなる

## 関西学生サッカー未来・夢倶楽部

わたしたち、関西学生サッカー連盟は学生の、学生による、学生らしいサッカー、をモットーに、  
清濁さ、若々しさ、ひた向きさ、を目指しています。

このような様々な思いを抱いてプレーし、想いを表現できる自分たちのピッチがあればいいなど  
夢見ています。

わたしたち、関西学生サッカー連盟はホームスタジアム(仮称Sスタジアム)を持つという目標を  
「未来・夢構想」としました。

わたしたちの未来・夢構想に賛同協力して頂ける支援者を求めています。

支援者の集まりを「関西学生サッカー未来・夢倶楽部」と名づけました。

どうか支援者として未来・夢倶楽部に仲間入りして頂くようお願い申し上げます。

Sスタジアムに行けば関西学生サッカーが見られる。  
Sスタジアムに行けば関西学生サッカープレーヤーに会える。  
Sスタジアムに行けば好きな大学チームのゲームが見られる。  
Sスタジアムに行けばサッカー仲間に出会える。



# スタジアムに行けば仲間に出会える!

未来・夢倶楽部会員はいつでも観戦無料

# 関西学生サッカー未来・夢倶楽部



## 入会ご案内



夢があるから目標がある  
目標があるから計画がある  
計画があるから行動がある  
行動があるから実績がある  
実績があるから反省がある  
反省があるから進歩がある  
進歩があるから喜びがある  
みんなで夢を実現しよう

**夢があるから強くなる**

### 「関西学生サッカー未来・夢倶楽部」お申し込みの手順

#### 1. 必要書類

- ① 関西学生サッカー未来・夢倶楽部入会申込書
- ② 顔写真 2cm×3cm (写真の裏に必ず氏名をご記入ください)
- ③ 郵便振替払込書

(専用の用紙は競技場で行われる公式戦の会場及び、未来・夢倶楽部事務局でご用意しています。)

#### 2. 会費の振込

郵便局から、「郵便振替払込書」で「関西学生サッカー未来・夢基金」あてに終身会費 30,000 円をお支払いください。

口座番号 00930-7-272254 / 口座名称 関西学生サッカー未来・夢基金

\* 専用の用紙(ゲートにご用意しています)をご使用頂くと手数料はかかりません。

#### 3. 書類の投函

入会申込書及び、顔写真を同封のうえ、本倶楽部事務局あてに郵送してください。

#### 4. 会員証が届きます

会員証を呈示すれば、関西学生サッカー連盟主催・主管のすべての大会に無料で入場できます。各種式典にも参加可能 !!

お問い合わせは

関西学生サッカー未来・夢倶楽部事務局

〒550-0014 大阪市西区北堀江 1-6-4 アビテ四ツ橋 203

関西学生サッカー連盟事務局内

Tel 06-6531-2030



**会則などの詳細は入場ゲートにご用意しています!**





# Together

~ Win of team, Yell message ~

夏の大学サッカー日本一決定戦、総理大臣杯！！

代表チームへ・・・

チームメイトから、そして、地区ごともに戦った仲間から、

“エール”が集まります

ぜひ会場ごその想いを共有してください！！(-)！！



スタジアムには  
いろいろな  
想いが  
あふれる・・・



全16代表、チームストラップ発売！  
～ご観戦の記念に・・・～

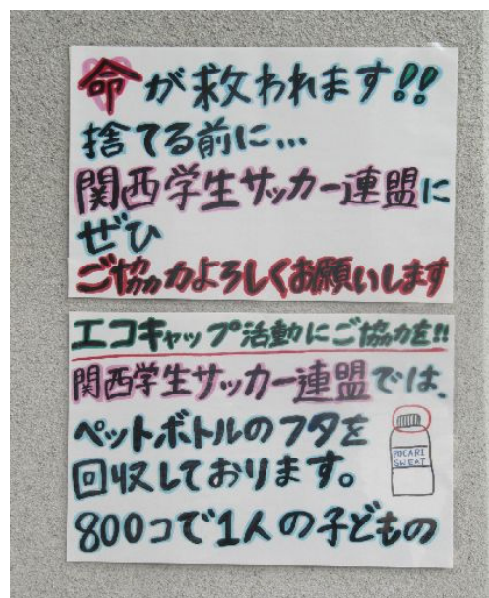


記念タオルなども発売中！



まずは、ゲートにGO！！

## エコキャップ活動！！



～ご来場の皆様へ～

試合のメンバー表は原則として関係者のみへ配布しています。

ご来場の方々全員への配布は出来ません。

メンバー表はゲート付近にも掲示しており、また、試合前やハーフタイムにも放送しております。

お手持ちのプログラム等をご活用頂き、予めご了承くださいませよう  
お願いいたします。



## 大会プログラム好評発売中！！

～選手情報が満載 1冊1,000円～

前売りチケット発売中！！

～準決勝以降は有料。ゲートにて絶賛発売中～

